

みやけの風

第 162 号

平成16年(2004年)2月14日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

立日に日に水ぬるむ春。梅祭りの行われているところは今が盛りです。東京でも探せば折々の季節に触れることの出来るところはたくさんあります。名所でなくても、近くの公園でそっと咲いている花や木もあるでしょう。少しだけ気持ちを前向きにして春に触れに出かけませんか。とはいえ、まだまだ寒い日もあるので用心してくださいね。

来週末2/21～23まで、支援センターはお休みさせていただきます。「みやけの風163号」は、通常通り発行いたします。

みんなの声

遊夢のトークサロンに誘われて

大妻女子大多摩祭の三宅島特別展に、おいしい寒天の手作りデザートをたくさん届けてくれた遊夢(ゆうむ)から、月一回のトークサロンで三宅島の避難生活について話をしてほしいと言われ、大妻女子大の千川教授(三宅と多摩をむすぶ会会長)と参加しました。

それは、避難当初から現在を思い返す良い機会になりました。「避難当初の混乱期を思う」と題して話しました。

避難してきてすぐの頃、「三宅と多摩をむすぶ会」の情報誌の編集会議で

- ・今三宅島の人たちに必要なことは何か。
- ・今三宅島の人たちの為に出来ることは何か。
- ・今三宅島の人たちに必要な情報は何か。

など、熱心に話し合っているのを見て「人間なんて優しい、なんて素晴らしいのでしょう、見ず知らずの人のためにここまで優しく出来るのだ。」と思いました。

また、三宅島災害・東京ボランティア支援センターと三宅島社会福祉協議会が取り組んでくれた、「島民電話帳」は避難当初の混乱期、日本中に離れ離れになった人たちをどれだけ安心させてくれた事でしょう。また、今その電話帳をいかした「ふれあいコール」で日本中に離れ離れになった人たちとの、情報交換や、様子伺い等も出来ているなどの話をしました。

=「この世の中意味のないことは起こらない」=

このたびの避難生活の意味は何だろうと思ったとき「人間の優しさ素晴らしさ、見ず知らずの人の為にここまで優しく出来るのだ」という意味を知らせたかったのだと気づき、感謝の

日々を過しています。またそのような事を伝える機会を頂いて良かったです。

日本中の避難先で多くの人に励まされ、支えられ、勇気づけられて三宅島へ帰れる日を待っている友のことを思っています。

(八王子市 阿古 鈴木 則子)

「おかげさまで」

長引く避難生活四度目の春をこの地、久留米西団地でむかえました。私たちは、市、はじめ地域の方々のご支援、お力添えをいただきながら一早く早い帰島を心待ちにしております。49世帯は高齢者で一人暮らしが多いのです。

とかく、家にこもりがちの生活ですが、幸い、村当局のご配慮で「高齢者支援センター」が設けられ常時二人の先生方が私たちの心の支えをしてくださいます。健康管理やら細部にわたり心を配ってくれる。

朝、10時近くになると皆さんがポツポツと集まって部屋の中が急に賑わって参ります。手芸、押し花のボランティアの先生が来てくださって教えてくださいます。手を使ったり頭を使ったりの手作業がはじまり、私も男一人仲間入りさせていただき、無器用な手つきで学んでいる毎日です。

つい先日、押し花で「おひなさま」、手芸では毛糸を使って「たわし」等いろいろ作っています。沢山作って子ども達や参加されてない方々に配ったりしたいと思い、夜10時過ぎまで熱中することもしばしばで楽しみです。みんなで材料購入に散歩がてら安売り店を見つけ出かけることもあります。

私たちは、月末にセンターから配布される予定表を部屋の曆に書き込み計画を立て楽しみ

にしていて、島の中ではできなかった各地区の皆さんが互いに支えあえる雰囲気できています。

センターの活動の中で屋外への散歩、季節折々の名所、公園、史跡、神社仏閣などの見物、あじさいの里の施設長さんをはじめ職員の皆さんの運転される車での楽しい一

日、このような機会気分転換ができることの感謝の気持ちで一杯です。

帰島にむけての明るい話が聞こえてくることの早いことを願っての毎日です。

(久留米西団地在住者)

2月の介護者教室のご案内

三宅村高齢者支援センターでは、毎月1回、介護教室を開いております。2月のテーマは、「口腔ケア勉強会」。「お口の中を、健康に清潔に保つには、どんなことに気を付けたら良いのか」日本訪問歯科協会の歯科医師とスタッフが、専用の歯科訪問車で来所。お話をして下さいます。また、希望者は歯の検診が受けられます。(無料)ふだん歯医者さんに無縁の方も、この機会を利用されてはいかがでしょうか？

皆様のご来場を、お待ちしております。

2月18日(水) 桐ヶ丘支援センター 13:30~15:00 ・FAX03-3907-1173
JR・赤羽駅下車、国際興業バス3番、赤羽郷下車、城北信金隣り

2月24日(火) 東久留米支援センター 14:00~15:30 ・FAX0424-79-174
(下里西団地10号棟、団地集会場にて)

西武新宿線・花小金井駅下車、西武バス、下里西団地下車
武蔵村山支援センター ・FAX042-566-8907
(東久留米支援センターと合同で、同日同会場にて、車で送迎します)

2月25日(水) 南大沢支援センター 13:30~15:00 ・FAX0426-78-5762
京王相模原線・南大沢駅下車、徒歩2分パオレ10階

2月27日(金) 小松川支援センター 13:30~15:00 ・FAX03-3681-0674
都営新宿線・東大島駅下車、コトハイル1号棟114号室

問合せ：三宅村在宅介護支援センター TEL&FAX：03-3459-8389 相談員：北村淑子

そば打ち体験に三宅島の方をご招待

『そば打ちを体験』も3回目となりました。4人1グループで5組(約20名)の方をご招待。ご希望の方は、開催日の1週間前までに、三宅島島民連絡会までお申し込みください。できれば、4人1組でお申し込みいただければと思いますが、4人集まらなければ、三宅島島民連絡会事務局で組み合わせを調整しますので、お気軽にお問合せください。

日 時：2月22日(日) いづれも 10:00集合 10:30~14:00 昼食つき
(ご自分で打ったそばを、お楽しみいただきます)

場 所：須黒食品物流センター2Fキッチンスタジオ
(JR南武線矢野口駅より徒歩5分)

お申し込み：三宅島島民連絡会事務局



銭湯イベントのお知らせ(第5回 おれ最高! 銭湯)



銭湯イベント「おれ最高! 銭湯」は、銭湯のお風呂場を舞台に、地域の方の歌、バンド演奏、お笑い、くじ引きなどで楽しんでいただくイベントです。裸のつき合いの出来る地域の灯台たらんとする銭湯へ、お近くにおられる三宅島の方にも、来て楽しんでいただければと思っています。

と き：2004年 2月23日(月)

16:00~18:00 子どもの部 子ども銭湯バンドTheBANDai

18:30開場 19:00~ 大人の部(21時過ぎ終了予定)

内 容：歌の部・お笑いの部 村山ひとしのチョップ寄席・銭湯トークとくじびき

と ころ：武蔵小山温泉清水湯(品川区小山3-9-1) TEL：03-3781-0575